

大宰府東小学校1年生 64名とテーダマツのマツボックリを使ってクリスマスツリー作りをしました。例年のように木の実や自然の素材を使って森の大切さを知り森への関心を高めるのがねらいです。10時に体育館に集合した子供たちを前にしりとり自己紹介をし、次にスタッフがそれぞれ持っている絵を当てて頭文字をつないで読むと「も、り、が、だ、い、す、き」となる言葉遊びもしました。うきうきわくわくして目が輝いている子供たちに森からの贈り物の紙芝居をして7班に分かれてツリーの製作に入りました。まずはグリーンのツリー作りです。マツボックリの隙間に細かく切ったスギの葉にボンドを付けて差し込んで付けていく作業や 余分な長い部分をカットする細かい作業もありましたので皆真剣です。これも森からの贈り物なんだよねと黙々と作業



をする子 疲れたと一休みしてまたもくもくと作業をする子 それぞれ個性溢れる子供たちでしたが皆とても楽しんで作ってくれました。父兄の応援もありましたので時間内に赤い実やコットンや木の実の飾り付けも終了しかわいい素敵なグリーンがベースのツリーが完成しました。長テーブルにずらりと並べて今日の振り返りと最後の「も、り、へ、い、こ、う」の言葉遊びと体育館に響き渡るみんなのお礼の言葉で終了しました。

自然素材にこだわり準備など手がかかりましたが 子供たちの「出来たー！」という喜びの笑顔がなんとも可愛く先生方からまた来年も是非というお礼の言葉もいただきスタッフ一同笑顔で解散しました。

スタッフ 廣 溝口 轟 大森 田川 出口 戸町 (記 戸町)